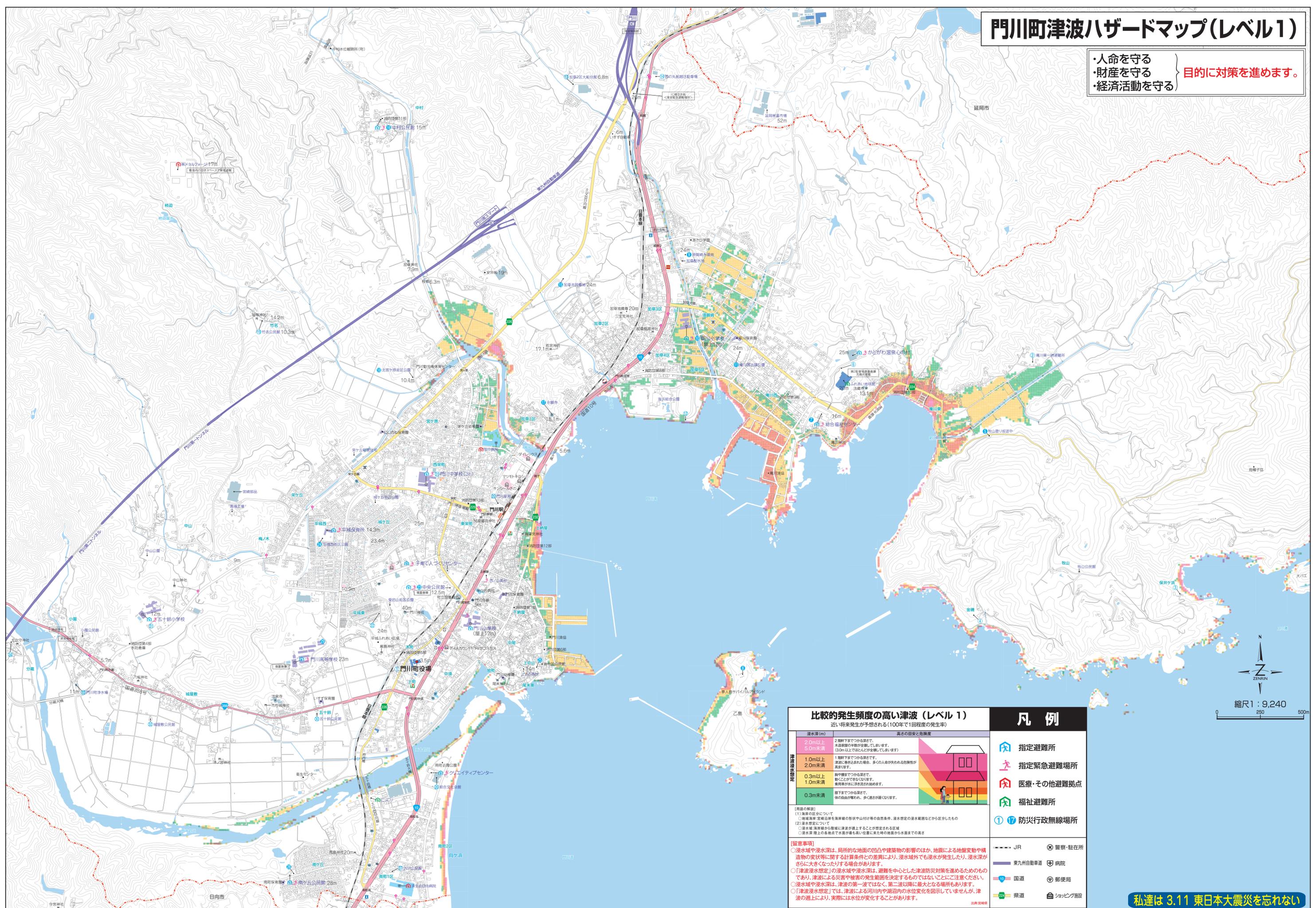


門川町津波ハザードマップ(レベル1)

・人命を守る
・財産を守る
・経済活動を守る } 目的に対策を進めます。



比較的発生頻度の高い津波 (レベル1)

近い将来発生が予想される(100年で1回程度の発生率)

浸水深 (m)	高さの目安と危険度
2.0m以上 5.0m未満	2階軒下までつかる深さで、水没家屋の半数が全壊してしまいます。(3.0m以上ではほとんどが全壊してしまいます)
1.0m以上 2.0m未満	1階軒下までつかる深さです。津波が押し寄せた場合、多くの人命が失われる危険性が高まります。
0.3m以上 1.0m未満	胸や腰までつかる深さで、動くことができません。乗用車が水に浮きだされ地めします。
0.3m未満	膝下までつかる深さで、体の自由が奪われ、歩く速さが遅くなります。

【用語の解説】
(1) 海岸の区分について
○ 沿岸部: 海岸線から海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定の高さ範囲などから区分したものである。
(2) 浸水想定について
○ 浸水域: 海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域。
○ 浸水深: 浸水域上の各地点で水高が最も高い位置に到達する地点から水面までの高さ

【留意事項】
○ 浸水域や浸水深は、局所的な地形の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなった場合があります。
○ 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
○ 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を明示していませんが、津波の遡上により、実際には水位が変化することがあります。

凡例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 医療・その他避難拠点
- 福祉避難所
- 防災行政無線場所
- JR
- 警察・駐在所
- 東九州自動車道
- 病院
- 国道
- 郵便局
- 県道
- ショッピング施設

私達は 3.11 東日本大震災を忘れない